



2020年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年10月11日

上場会社名 エスフーズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2292 URL http://www.sfoods.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村上 真之助
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 湯浅 庸介 (TEL) 0798(43)1065
 四半期報告書提出予定日 2019年10月15日 配当支払開始予定日 2019年10月31日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年2月期第2四半期の連結業績(2019年3月1日~2019年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期第2四半期	174,084	4.1	4,686	△22.3	4,985	△20.5	2,426	△39.9
2019年2月期第2四半期	167,277	8.0	6,034	10.6	6,267	8.0	4,039	1.2

(注) 包括利益 2020年2月期第2四半期 148百万円(△88.6%) 2019年2月期第2四半期 1,299百万円(△83.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2020年2月期第2四半期	円 銭 76.62	円 銭 —
2019年2月期第2四半期	127.58	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2020年2月期第2四半期	百万円 174,801	百万円 85,233	% 45.2
2019年2月期	165,062	86,028	48.5

(参考) 自己資本 2020年2月期第2四半期 79,095百万円 2019年2月期 79,977百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2019年2月期	円 銭 —	円 銭 28.00	円 銭 —	円 銭 28.00	円 銭 56.00
2020年2月期	—	30.00	—	—	—
2020年2月期(予想)	—	—	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年2月期の連結業績予想(2019年3月1日~2020年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	360,000	6.3	11,500	4.8	12,000	5.8	7,800	8.6	246.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 社(社名) 、除外 社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年2月期2Q	32,267,721株	2019年2月期	32,267,721株
② 期末自己株式数	2020年2月期2Q	596,974株	2019年2月期	601,435株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年2月期2Q	31,667,933株	2019年2月期2Q	31,665,230株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項につきましては、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、米中の貿易不均衡問題や極東アジア地域や中東における政情不安など国際問題により国内経済が翻弄される状況に終始しました。また、消費増税などが今後の国内景気へどのように影響するかも見通せず、将来に対する不透明感が蔓延しました。当食肉業界におきましては、個々の企業による違いはあるものの、全般的にはデフレ圧力により収益が圧迫される環境が続いております。

このような経営環境のもと、当社グループは、食肉の生産から卸売、食肉製品の製造、さらに小売・外食に至る食肉関連事業を一貫してグループ内で行う垂直統合を更に進化させていくことにより、経営の安定と事業の成長を目指しました。

食肉等の製造・卸売事業においては、国内外における原料調達力を強化するための施策を着実に実行しました。短期的に利益貢献に資することよりも、長期的な事業構造の強化と安定した収益を目指した事業展開を進めております。国内においては、新規顧客開拓による販路拡大に取り組みました。また、「こてっちゃん」の3アイテム展開（コク味噌味・旨辛コチジャン味・にんにく塩味）を定着させることにより、訴求力の向上に努めました。千葉県船橋市における製造、営業拠点整備も順調に進み、本年度中に稼働を開始する予定です。

食肉等の小売事業においては、新業態の店舗にも挑戦した他、継続的にイベント型の提案販売や、レイアウト再構築等の既存店活性化を継続実施し、また、従業員の知識、技術向上による商品及び接客レベル改善を目指し、肉のマイスター制度をさらに浸透させてまいりました。

食肉等の外食事業にあつては、ステーキレストランチェーン事業及び焼肉・しゃぶしゃぶチェーン事業において、メニューの考案や不採算店対策等、競争力向上のための施策を実施してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高1,740億8千4百万円（前年同四半期比4.1%増）、営業利益46億8千6百万円（前年同四半期比22.3%減）、経常利益49億8千5百万円（前年同四半期比20.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益24億2千6百万円（前年同四半期比39.9%減）となりました。

続いて、セグメントごとの業績は次のとおりであります。なお、売上高は外部顧客への売上高を記載し、セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

①食肉等の製造・卸売事業

売上高は1,589億8千6百万円（前年同四半期比4.6%増）、セグメント利益は47億9百万円（前年同四半期比20.8%減）となりました。

②食肉等の小売事業

売上高は104億5千5百万円（前年同四半期比3.3%減）、セグメント利益は4億2千3百万円（前年同四半期比21.2%減）となりました。

③食肉等の外食事業

売上高は39億2千1百万円（前年同四半期比4.0%増）、セグメント利益は1億5千8百万円（前年同四半期比18.4%増）となりました。

④その他

売上高は7億2千万円（前年同四半期比0.1%減）、セグメント利益は8千4百万円（前年同四半期比28.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて97億3千8百万円増加し、1,748億1百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少及び保有株式の時価の下落による投資有価証券の減少の一方で、売上高増加に伴う売上債権の増加、たな卸資産の増加及び設備投資に伴う有形固定資産の増加によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて105億3千3百万円増加し、895億6千7百万円となりました。これは主に、売上高増加に伴う仕入債務及び借入金の増加によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて7億9千4百万円減少し、852億3千3百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加の一方で、その他有価証券評価差額金の減少によるものであります。

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態の状況については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度との比較を行っております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年2月期通期の業績予想につきましては、本年4月12日に発表いたしました内容に変更はございません。

なお、上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって、予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	40,410	35,601
受取手形及び売掛金	33,157	42,116
商品及び製品	17,974	21,181
仕掛品	920	1,067
原材料及び貯蔵品	3,141	2,911
その他	2,985	2,574
貸倒引当金	△157	△173
流動資産合計	98,432	105,279
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	37,336	41,347
減価償却累計額	△22,889	△23,889
建物及び構築物（純額）	14,447	17,457
土地	17,069	17,257
その他	35,367	39,238
減価償却累計額	△20,987	△21,777
その他（純額）	14,379	17,460
減損損失累計額	△1,580	△1,920
有形固定資産合計	44,315	50,255
無形固定資産		
のれん	237	203
その他	463	581
無形固定資産合計	701	784
投資その他の資産		
投資有価証券	18,321	15,358
退職給付に係る資産	122	120
その他	3,473	3,290
貸倒引当金	△304	△287
投資その他の資産合計	21,612	18,481
固定資産合計	66,630	69,522
資産合計	165,062	174,801

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	27,760	33,280
短期借入金	8,290	8,483
未払法人税等	1,823	1,786
賞与引当金	974	983
その他	10,448	11,474
流動負債合計	49,298	56,008
固定負債		
社債	1,250	1,200
長期借入金	22,475	27,395
役員退職慰労引当金	208	220
退職給付に係る負債	1,952	1,942
その他	3,848	2,800
固定負債合計	29,735	33,558
負債合計	79,033	89,567
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,298	4,298
資本剰余金	18,691	18,707
利益剰余金	50,126	51,666
自己株式	△421	△417
株主資本合計	72,695	74,254
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,921	4,635
繰延ヘッジ損益	△13	△11
為替換算調整勘定	365	210
退職給付に係る調整累計額	8	5
その他の包括利益累計額合計	7,282	4,840
非支配株主持分	6,050	6,138
純資産合計	86,028	85,233
負債純資産合計	165,062	174,801

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年3月1日 至2018年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年8月31日)
売上高	167,277	174,084
売上原価	143,104	150,687
売上総利益	24,173	23,396
販売費及び一般管理費	18,139	18,710
営業利益	6,034	4,686
営業外収益		
受取利息	17	25
受取家賃	76	97
受取配当金	266	278
その他	219	212
営業外収益合計	580	613
営業外費用		
支払利息	107	142
為替差損	152	107
賃貸原価	31	27
その他	56	37
営業外費用合計	347	315
経常利益	6,267	4,985
特別利益		
固定資産売却益	3	2
投資有価証券売却益	81	0
補助金収入	35	—
負ののれん発生益	—	30
受取保険金	—	5
受取補償金	—	34
その他	6	—
特別利益合計	127	72
特別損失		
固定資産処分損	26	186
減損損失	50	481
店舗閉鎖損失	8	1
災害による損失	—	30
その他	9	0
特別損失合計	96	700
税金等調整前四半期純利益	6,298	4,357
法人税等	2,099	1,760
四半期純利益	4,198	2,597
非支配株主に帰属する四半期純利益	158	170
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,039	2,426

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)
四半期純利益	4,198	2,597
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,840	△2,292
繰延ヘッジ損益	21	1
為替換算調整勘定	△63	△148
退職給付に係る調整額	△8	△3
持分法適用会社に対する持分相当額	△7	△6
その他の包括利益合計	△2,898	△2,448
四半期包括利益	1,299	148
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,129	△15
非支配株主に係る四半期包括利益	170	163

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,298	4,357
減価償却費	1,612	1,666
減損損失	50	481
のれん償却額	29	34
支払利息	107	142
負ののれん発生益	—	△30
賞与引当金の増減額 (△は減少)	19	9
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	2	△0
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	20	△12
受取利息及び受取配当金	△283	△304
売上債権の増減額 (△は増加)	△7,538	△8,899
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,962	△3,029
仕入債務の増減額 (△は減少)	5,881	5,381
受取補償金	—	△34
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△117	△241
その他	168	1,215
小計	4,289	736
利息及び配当金の受取額	281	304
利息の支払額	△97	△140
法人税等の支払額	△1,488	△1,645
補償金の受取額	—	34
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,984	△712
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△0	499
有形固定資産の取得による支出	△8,586	△7,143
無形固定資産の取得による支出	△29	△195
投資有価証券の取得による支出	△1,147	△259
投資有価証券の売却による収入	148	7
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△1,577
貸付けによる支出	△936	△643
貸付金の回収による収入	156	1,309
吸収分割による支出	△509	—
その他	66	△100
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,837	△8,102
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,380	195
長期借入れによる収入	8,738	7,724
長期借入金の返済による支出	△1,512	△2,224
社債の発行による収入	487	—
社債の償還による支出	△50	△50
配当金の支払額	△758	△884
非支配株主への配当金の支払額	△76	△76
その他	△49	△42
財務活動によるキャッシュ・フロー	8,158	4,640
現金及び現金同等物に係る換算差額	△20	△135
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	284	△4,309
現金及び現金同等物の期首残高	35,310	39,453
現金及び現金同等物の四半期末残高	35,595	35,143

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)
税金費用の計算	当社及び一部の連結子会社については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」の適用に伴う変更)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2018年3月1日 至 2018年8月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額(注)3
	食肉等の 製造・卸売事業	食肉等の 小売事業	食肉等の 外食事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	151,972	10,814	3,769	166,556	721	167,277	—	167,277
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,135	28	193	4,357	95	4,452	△4,452	—
計	156,107	10,842	3,963	170,914	816	171,730	△4,452	167,277
セグメント利益	5,945	536	134	6,616	65	6,682	△647	6,034

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲料水製造・販売事業及び冷蔵倉庫業等であります。
2. セグメント利益の調整額△647百万円には、セグメント間取引消去△20百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△627百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社及び一部子会社の間接部門の一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額(注)3
	食肉等の 製造・卸売事業	食肉等の 小売事業	食肉等の 外食事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	158,986	10,455	3,921	173,363	720	174,084	—	174,084
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,063	41	188	4,293	97	4,391	△4,391	—
計	163,049	10,497	4,110	177,657	818	178,475	△4,391	174,084
セグメント利益	4,709	423	158	5,291	84	5,376	△689	4,686

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲料水製造・販売事業及び冷蔵倉庫業等であります。
2. セグメント利益の調整額△689百万円には、セグメント間取引消去△40百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△649百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社及び一部子会社の間接部門の一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当連結会計年度(自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	全社・消去	合計
	食肉等の 製造・卸売事業	食肉等の 小売事業	食肉等の 外食事業	計			
減損損失	471	6	3	481	—	—	481